

【ICT 活用実践紹介】

【花里小5年2組 ●●先生の実践】

教科：図画工作科

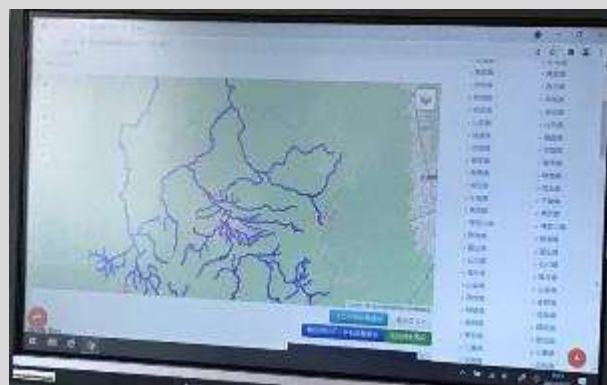
活用ツール：iPad のカメラ機能

類型：B4（個別学習：表現・制作）

内容：形が動く、絵が動く

1. 粘土、文房具、絵（画用紙・デジタル）など自分が動かしたいものを準備する。自分がやりたいもの
2. ものを少しずつ動かしながら、一コマ一コマ「カメラ」で写真を撮る。
3. 「写真」で撮った写真をスクロールしながら見る。

感想：絵が描くのが苦手な児童も意欲的に取り組める。教師の準備も画用紙だけで、モチーフは自分がやりたいものなので、主体的に取り組んでいる。



【花里小3年2組 ●●先生の実践】

教科：社会

活用ツール：Google マップ

類型：A1（一斉学習：教員による教材提示）

内容：

1. Google で「高山市 河川」と検索する。
2. 川の名前を確認する。

感想：高山市に流れる河川を見せたかったが、副読本だけでは、難しい。Google マップなら、細かく見せることができるし、校区の川も見ることができる。今回は使わなかったがリアルタイムカメラもある。

岐阜県内の地形の情報なら「ぎふ山と川の危険箇所マップ」というサイトがおすすめです

【岡田のおもいつ記】

図画工作の実践では、記録、消去が容易にできることが児童の創作意欲につながっています。さらに、順序や繰り返しなどの要素が入るとプログラミング的思考を育む題材になりますね。

中学年の社会は、地域のことが教科書に掲載していないことが多いです。似たような観点で情報を集めるにはインターネットが効果的です。